



女性がもっと輝きを放つ キャンパスへ



長崎大学長 **片峰 茂**
Katamine Shigeru

人間の半分は女性です。ところが、長崎大学での女性の割合は、昨年度の実績で、学部学生で40%あったものが、大学院生では27%、教員にいたっては14.8%（教授に限れば6.5%）と、キャリアが上がるにしたがって激減してきます。

女性が大学でキャリアアップを図るための機運がまだまだ醸成されていないことを意味しています。ジェンダーは人類が有する最も重要な多様性のひとつです。男女が均等にチャンスを享受し、双方が持ち味を生かして共同作業を行ない切磋琢磨する中からこそ21世紀のブレークスルーが生まれるにちがいありません。

学術の府＝大学における教育・研究や診療こそ、女性が適性を有し最も能力を発揮することのできる分野のひとつであるはずで。女性たちが、奔放に、そして縦横無尽に輝きを放つ、そんなキャンパスを創りたいものです。長崎大学は今、男女共同参画実現に向けた環境整備と意識改革に、真面目にそして本気で取り組もうとしています。

平成二十二年 四月

| CONTENTS |

【特集】 ~男女共同参画推進の拠点~おもやいセンター、始動！	1
【人クローズアップ】 環境科学部 増田 研 准教授.....	7
【いいたか放題】 長崎県福祉保健部医療政策課(行政医師) 藤田 利枝さん	10
【長崎大学教育学部附属小学校 金管バンド部】.....	12
【夢へのチャレンジ】 「夢募集」企画大賞 ウッドデッキ築造プロジェクト(前編).....	14
【長大ニュース】	16
【グラバー図譜】	18
【インフォメーション】・【編集後記】.....	21

本誌記事を長崎大学関係者が転載する場合は、「長崎大学広報誌 CHOHO 号から」と明記してください。
学外の方は、事前に広報企画委員会までご連絡願います。